

【全国高校総体】ご声援、ありがとうございました

令和4年度全国高校総体「四国総体2022」が、8月3日から7日の5日間にわたって開催されました。本学学生からは過去最多の9種目、14名の選手が出場しインターハイへ挑みました。

(男子のリザルト)

1000m	谷藤 海友	予選 4位	10秒67 (10秒60までが準決勝進出)
4000m	榊原 聡真	予選 4位	48秒82 (48秒10までが準決勝進出)
1500m	藪田 虎志朗	予選 2位	3分53秒46
		決勝 16位	3分57秒86 (3分47秒35までが8位入賞)
400mH	富山 詩央	予選 4位	52秒37 (自己ベスト)
		準決勝 5位	52秒85 (52秒05までが決勝進出)
400mH	下田 隼人	棄権	
3000mSC	夏目 拓	予選 15位	10分31秒19 (9分11秒88までが決勝進出)
4×100mR	高柳 友貴	羽田野太智 寺下頼檜 谷藤海友	
		予選 4位	41秒10
		準決勝 5位	40秒77 (40秒67までが決勝進出)
4×400mR	橋本 結友	寺下頼檜(準決勝は下田隼人) 富山詩央 榊原聡真	
		予選 3位	3分18秒15
		準決勝 6位	3分17秒04 (3分15秒34までが決勝進出)

(女子のリザルト)

3000m	吉田 莉帆	予選 4位	9分30秒59
		決勝 10位	9分25秒79 (9分16秒66までが8位入賞)
400mH	夏目 紗彩	予選 1位	1分01秒12
		準決勝 2位	1分01秒13
		決勝 5位	1分00秒81

8月4日(大会2日目)は克哉先生の命日

克哉先生が最も力を入れてきた「リレー種目」でのインターハイ入賞はチームの悲願であり、どうしても成し遂げたい目標でした。100mの谷藤は予選敗退の後、4×100mRに全てをかけます。400mHの富山、夏目は予選を通過し翌日の準決・決勝へ駒を進めました。そして最終種目の4×100mR準決勝へ。

あと0.1秒。

4人で割れば0.025秒。どうしても届きませんでした。克哉先生は笑顔で言いました。

「インターハイの決勝はそんな甘いもんじゃないぞお」と。

翌日、400mHの夏目は決勝へ。最後の10メートルはきっと誰かが背中を押したんだと思います。最後まで力を振り絞った結果は5位入賞。創部初的女子部員によるインターハイ表彰台。

歓喜もありましたが、それ以上の悔しさと苦しさがありました。でもこれがインターハイ。かけがえのない貴重な経験となりました。最後までご声援頂き、本当にありがとうございました。

陸上部・駅伝部 顧問一同